

製品名: PGP9.5 (5O2) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16043**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	UCHL1
別名	UCH-L1; PGP9.5; UCHL1;
遺伝子 ID	7345.0
SwissProt ID	P09936
免疫原	ヒト PGP9.5 の合成ペプチド

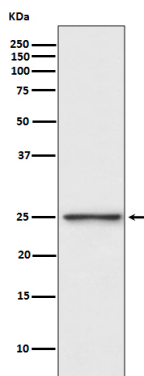
背景

ユビキチン前駆体とユビキチン化タンパク質の両方のプロセッシングに関与する。本酵素はチオールプロテアーゼであり、ユビキチンのC末端グリシンにおけるペプチド結合を認識して加水分解する。ユビキチンタンパク質加水分解酵素は、ユビキチン前駆体とユビキチン化タンパク質の両方のプロセッシングに関与する（可能性が高い）。本酵素はチオールプロテアーゼであり、ユビキチンのC末端グリシンにおけるペプチド結合を認識して加水分解する（PubMed:9774100, PubMed:8639624, PubMed:12408865, PubMed:23359680）。また、遊離モノユビキチンにも結合し、リソソームにおけるその分解を阻害する可能性がある（類似性による）。ホモ二量体はATP非依存性ユビキチンリガーゼ活性を持つ可能性がある（PubMed:12408865）。

研究分野

神経科学

画像データ



SH-SY5Y 細胞溶解物中の PGP9.5 発現のウェスタンプロット解析。